

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール（令和7年度） 事業所名： ケアステーション 21 清池 ユニット名：ひかり 外部評価実施日： 令和8年1月22日

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	ご家族様より
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をホールに掲示している。「住み慣れた地域で、なじみの場所、人とふれあい安心できる暮らし」「笑顔と楽しみのあるゆったりとした、その人らしい暮らし」を職員一人一人が意識をもって業務を行えるようにしている。毎日の申し送りやユニット会議などで話し合い、理念についての理解を深め実現にむけて、共有し実践している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症の流行があり、地域の方と触れ合うなどの交流は難しいが、地区役員の方に運営推進会議に出席してもらったり、毎月のお便りで、ホー	地区の代表の方に2か月に1回、運営推進会議へ出席してもらっている。毎月、回覧板でホーム便りを回してもらい、ホームへの		

		員として日常的に交流している		ムの情報を発信し理解等を得られるようにしている。地域の文化祭に利用者の方の作品を展示させてもらい、地域の方に見て頂いたり、他の方の作品なども見学させてもらうことができた。	理解を深めていただいていると思う。又、地区の文化祭に利用者の方の作品を展示させてもらい、多くの方に見ていただいたり、他の方の作品等も見学させてもらうことができた。今後、可能な限り、参加させていただきたいと思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月毎に運営推進会議を開催し、市担当者・包括支援センター職員、地区長、民生委員、家族の方に参加していただき、運営状況等について説明、報告を行っている。又、運営推進会議で自己評価を踏まえて外部評価を行っており、会議での意見や提案を取り入れ事業所の運営に反映するようにしている。	全6回、ホームの方に来てもらい会議を行うことができた。ご意見を伺い、事業所の運営に反映させ、サービスの向上につなげていけるようにしている。 平日の午後の開催ということで、家族等の方で参加できる方が決まっており、出来る限りたくさんの方に参加してもらいたいが難しい状況がある。		

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に市の担当者の方や地域包括支援センターの方から会議に出席して頂き、事業所の実情を伝え、理解してもらっている。諸問題が生じた時は、市役所へ出向き相談し、書面や電話等で随時対応している。利用者の方の事故が発生した際にはメールなどで速やかに報告するように努めている。	市の担当の方より、その都度、運営の指導を頂いている。又、事故等の発生時は、できるだけ速やかに報告するよう努めている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所全体で、身体拘束廃止宣言を掲げ、委員会を設置し取り組んでいる。身体拘束自己点検シートを活用し各自の認識の違いを確認し、拘束しないようにしている。また、利用者の方の行動を把握し、不穏で落ち着かない時は職員間で状態を把握し、声掛けを工夫したり、好きな事をして気分を紛らわしたり、所在確認を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている 4名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 無回答 1名	B.きちんと取り組みされていると思う。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会を設置し、虐待の防止に取り組んでいる。虐待についての勉強会を事業所内で行い、制度等に対する理解を深めている。又、管理者を中心に職員一人ひとりが虐待を見逃さない環境と情報共有を大切にしている。見守りカメラを設置し常時、状況を把握できるようにしており、虐待行為の抑止につなげている。		A. 充分にできている B. ほぼできている 3名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 無回答 2名	B. 5番と同様、きちんと取り組みされていると思う。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、成年後見制度を利用している方、生活保護を受けている方がいる為、勉強会を行い、制度に対する理解を深めている。今後も利用者の方に必要性が生じた場合には、関係者と十分に話し合い活用できるように体制を整えている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者及び家族代表・代理人等との契約、契約解除又は改定などの際は、責任者を指定し実施している。また、契約時などにおいて不安や疑問などが生じないよう、分かりやすい言葉で説明し、説明文書を作成している。理解、納得が出来るか確認しながら説明できるよう体を整えている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族等が来所した際や電話等で、生活状況を説明し、意見や要望を聞き、利用者の方やご家族等の満足が得られるように配慮し運営に反映させている。また、苦情等に関しては、責任者を指定し早期解決に向けて検討会を開催し、再発防止に努めるよう体制を整えている。		A. 十分にできている 3名 B. ほぼできている 2名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A. 電話での話により充分によくできていることが伝わってきます。

10	運営に関する 職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者及び法人役員と管理者が集まって月1回定例会議を開催し、事業所の状況等の情報交換及び意見交換を行い、事業所及び法人の運営に反映させている。又、申し送りやユニット会議等で職員の意見や要望、提案を聞く機会を設け、運営に反映するとともに定例会議で出た要望や意見、苦情など情報も職員全体が把握出来るようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の申し送りやユニット会議などで職員の意見や要望を聞き、職場環境の改善に反映させている。年1回人事考課があり、業務に対する能力や成果、意欲等、総合的に評価することで、職員一人一人が目標を立て向上心を持って働くことが出来るようになっていく。又、代表者が事業所を訪問し、職員の意見や要望を聞き運営に反映されている。		A. 充分にできている B. ほぼできている 3名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 無回答 2名	E. よくわからない。

12	職員を育てる 取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	資料研修やWEB研修が行われている。職員一人一人の能力、特性を考え、必要な研修を受講できるようにし、職員の資質向上を図っている。又、働きながら、資格取得できるように勤務を調整する等、環境を整えている。		A. 充分にできている 1名 B. ほぼできている 3名 C. あまりできていない い D. ほとんどできていない い E. 無回答 1名	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、法人内の他の事業所の管理者との交流を通じて、問題点や改善点及び、良かった点などについての話し合いを行い、事業所のサービスの質の向上に努めている。又、県グループホーム協議会の村山ブロック会議や県大会に参加し、情報交換や協力体制を構築し、相互のサービスの質の向上に努めている。			

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のペースに合わせ、出来ること、得意なこと、好きなことでの役割を持ってもらい、助け合って共同生活が送れるように支援している。その方の経験や知識を生かせるような場面を設けている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方やご家族等から得た情報をもとに、会話の中でこれまで関わりのあった人や場所や場面等について話題を提供し、良好な関係が保持できるように努めている。一部面会への制限はあるが面会が増えてきおり、利用者の方の安心につながっているため、関係性が途切れないように支援している。面会が難しい場合は、電話で話せるように支援している。	事前に予約してもらうなど、面会制限が一部あるが、玄関先や居室で、家族や友達、親類の方との面会をしてもらっている。又、なじみの場所等への外出も感染対策を講じながら対応している。 電話の希望があれば、手助けして対応している。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日々の生活の中で本人の思いを聞き、面会時や通院時などで来所された際に、家族等から意見や要望を聞き、意向を把握し、その人らしい生活が出来るように目標を設定し、ケアプランを作成し、支援している。又、意思疎通が困難な場合でも日々の行動等からしたいことを考え、本人が望む生活が送れるように努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎月のモニタリングや定期的にケアカンファレンスを行い、利用者の方の状態の変化や現状の情報を共有し、本人のニーズの掘り起こしに努め、必要なケアの把握に努めている。又、ご家族等からの要望や意見を電話連絡や来所時に聞き取り介護計画に反映する様にしている	ケアカンファレンス前後で本人、家族等からどのような生活が送りたいのか等の要望を聞いて、ケアプランを作成している。職員全員が会議や議事録、ノートで情報を共有し、統一したケアが出来るように努めている。	☐ A. 充分にできている 2名 ☐ B. ほぼできている 3名 ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	☐ A. 状態の変化にあわせて必要なケアをして頂いていると思う。 ☐ B. 要望がないか確認してもらっています。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方の日常生活における状態の観察を行い記録し、変化を見逃さず、申し送りや会議の際に、報告・相談・検討し、早めの対応を行い諸問題の解決に努めている。又、把握した情報を職員全員が共有し、統一したケアを行うとともに、介護計画を必要に応じて見直している。		A. 充分にできている 2名 B. ほぼできている 3名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A. そのようにしていると思う。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状態の変化に応じてニーズも変わることがあるため、その都度、職員間で情報を共有し、ケア、対応の変更に努めている。又、他のサービスの提案も含め都度、相談し話し合いをしている。	家族等が来所された際に意見を聞いたり、日常の会話の中から要望やニーズを把握するようにしている。状態の変化に応じて他のサービスの提案も含め、相談し、話し合いを行っている。特養を希望される際は、事前面談等対応する体制となっている。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事等の際に、慰問ボランティアの方の協力を得ることは、出来ていないが、地域神社の元旦参りや例大祭に出かけたり、文化祭に作品を展示させてもらい、見学させてもらうことができた。地域の方に回覧板でホーム便りを回していただき、事業所の情報を公開し、理解を深めてもらい、交流が途切れないように努めている。	コロナ以前に来て頂いていた慰問ボランティアの協力を得ることはまだできていないが、感染対策を講じながら、近所へ散歩やドライブ等の外出を支援している。家族等の協力を得ながら、入所前にかかっていたかかりつけ医への通院を含めた外出をしている方もいる。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関による定期訪問診療・予防接種などの他、訪問歯科検診・口腔ケア・治療など、希望や必要に応じて対応できるような体制を整え連携している。又、ご家族等の協力を得て、入所以前からかかっていた病院等に継続して通院している利用者の方いる。情報提供等、対応が出来るように通院体制を確立し、適切に対応支援している。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方が入退院時に病院関係者と情報交換や相談を行い安心して治療できるようにしている。定期的に病院のソーシャルワーカーや看護師、ご家族等に電話で状況を確認するなどして早期退院に向けて対応している。		A. 充分にできている 1名 B. ほぼできている 4名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	B.入院が必要になったときは、お願いしたい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化等に対する指針を定め、入所時において家族等に説明をして理解していただき、文書化して同意を頂いている。又、事業所で出来ること、出来ないことを事前に説明すると共に、利用者の状態の変化に対応できるよう、医療機関や家族等とその都度、話し合いを行いその情報を職員と共有している。		A. 充分にできている 1名 B. ほぼできている 4名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	B.重度化したときはお願いしたい。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方の急変や事故発生に備え、事業所の任務分担を明確にし、連絡網を作成し、グループラインで迅速に対応できるようにしている。 又、ほぼ全職員が応急手当、AED 講習を受け、初期対応訓練を実践している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地震や火災、水害等の様々な状況を想定し、災害時における避難訓練を繰り返し実施し、避難方法を身につけている。運営推進会議で消防署の方に来てもらい、地域役員の方や、消防団の班長の方などと訓練を実施し、避難の様子を見ていただいた。現状を理解してもらい、問題点の把握ができ、より良い対策を講じるよう努めている。	今年度も、消防署、地区の消防団代表、地区長、家族等と消防訓練を行うことができた。車いすの方もおり3階の建物のため避難が厳しい状況であることを含め現状を理解してもらうことができ、協力体制について確認することができた。その他、様々な災害を想定して有事に備えた訓練を実施している。	A. 充分にできている B. ほぼできている 4名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 無回答 1名	B.大変だと思いますが お願いしたい。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人にあった声掛けや名前の呼び方など、人格を尊重しながら、親しみのある言葉掛けや対応の統一を図っている。部屋に入る際は、声掛けやノックを行い、入浴の際は、出入りが多くなるがその都度ドアをきちんと閉めてプライバシーに配慮している。又、個人情報使用に関する指針を定め、事業所全体で注意を喚起している。		A. 充分にできている 1名 B. ほぼできている 3名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 無回答 1名	B,ていねいに対応してくれているのが分かります。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	集団生活で時間に左右される場面もあるが、利用者の方のこれまでの生活や考え方に沿った生活ができるよう努めている。又、ストレスがたまらないように散歩やドライブなど外出する機会を作り、季節に応じた行事を取り入れ、利用者の希望にそった生活が出来るように支援している。			

28	食事を楽しむ ことのできる 支援	食事が楽しみなものになる よう、一人ひとりの好みや力 を活かしながら、利用者と職 員と一緒に準備や食事、片 付けをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事の際等に料理の下準備 や味付け、後片づけ等をする機 会を設けたり、テーブルやコップ を拭いていただいている。夏祭り や敬老会等の季節の行事に合 わせたお祝いメニューや芋煮会 などの郷土料理を楽しむ機会を 設けている。又、その人の噛む 力や嚥下能力を見ながら、刻ん だり、水分にとろみをつけたり、 おかゆにしたり、食事形態を変 えて提供している。		A. 充分にできている 1名 B. ほぼできている 4名 C. あまりできていな い D. ほとんどできていな い	
29	栄養摂取や水 分確保の支援	食べる量や栄養バランス、 水分量が一日を通じて確保 できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援 をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方の一日の食事状 況を観察し、記録して情報を共 有し、カロリーや水分摂取量を 把握している。水分の一回の摂 取量が少ない方には声掛けした り、回数を増やしている。医師の 指示で、高カロリーの補助食品 をとっている方もいる。嚥下能力 の低下がある方には、トロミ剤を 使用し、とろみをつけて飲みこみ やすいよう工夫している。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、個々の能力に応じ、声掛けし歯磨きを促したり、介助を行う等、口腔ケアを行い清潔保持に努めている。必要に応じてご家族と相談し、歯科受診、往診、口腔ケアを受けることができる体制がある。		A. 充分にできている 1名 B. ほぼできている 4名 C. あまりできていない い D. ほとんどできていない い	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方の排泄パターンなどの情報を共有、把握して一人一人に合わせた時間にトイレ誘導や声掛け(促し)を行い、排泄の自立に向けた支援をしている。又、尿意や便意が希薄になっている方についても時間帯を見計らい排泄の習慣化を図っている。排便状況を把握し、内服薬の調整等を行っている。		A. 充分にできている 2名 B. ほぼできている 3名 C. あまりできていない い D. ほとんどできていない い	A,一人一人にあわせて対応をしてもらいたい。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気温や季節に合わせて浴室や脱衣所の温度調節を行い、快適に入浴できるようにしている。利用者間の関係に配慮し希望に沿った入浴を心掛けているが、身体機能が低下し一般浴槽に入れない利用者の方にはシャワー浴をしている。体調、気分に合わせて入浴の時間帯や曜日を変更するなどの対応をしているが、介助が必要になってきている利用者の方も増えてきており、一人当たりの入浴時間も限られている状況もある。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間に安眠できるよう、日中は軽い体操や趣味の活動、散歩等を行い、出来るだけ活動的に過ごして頂けるようにしている。一人一人の身体状況や体調に応じて時間を決めて、日中に体を休める必要のある方もいるが、夜間の睡眠に支障が出ないような時間で声掛けをしている。居室の温度や湿度等、快適に眠れるような環境を作るように支援している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者の方の病状と症状、服用している薬の必要性を理解している。訪問診療の医師や通院されている病院の医師の指示に基づき服薬管理、副作用の有無などの状態の観察を行っている。変化等があれば看護師、管理者より主治医等に報告・連絡するようにしている。		A. 充分にできている 2名 B. ほぼできている 3名 C. あまりできていない い D. ほとんどできていない い	A,体の症状によりすぐ対応してくれました。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者の方の生活歴や趣味、希望を聴取し、入所後も出来る限り継続して行えるようにしている。又、役割を持つことで、使命感や達成感を味わってもらい、生き生きとした生活が送れるようにしている。一人一人の能力を引き出し、楽しみ事を見つけ気分転換ができるよう配慮している。	これまでしてきたことを継続して出来るように支援している。アセスメントを行い、出来ること、出来ないことを見極め、役割を持って頂いたり、好きなことをして生き生きと生活してもらえるように支援している。入居してから新たな楽しみ事を見つけている方もいる。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気候の良いときに、戸外に出て日光浴をしたり、近所等へ散歩に出かけたり、玄関先のプランター菜園の水やりや収穫をしていただいている。体力面を考慮しながら、企画行事（花見・紅葉狩りなど）で、日ごろ行けないような場所にも外出支援を行っている。 感染対策を講じながらお祭りや初詣、お花見、紅葉狩り等、ドライブや散歩に出かけ、気分転換を図っていただけるようにしている。又、玄関先の花や野菜の鑑賞や収穫などの世話をしてもらっている。家族等の協力を得て、通院に出かけたり、市役所に用事を足しに出かけた方もいる。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所で管理しており、本人から欲しいものの申し出がある時や必要なものがある時は、ご家族等に相談し本人に代わり購入している。出納帳を使いその内容と残高を毎月、ご家族等に報告している。体力が低下し食事があまりとれない方には、食べたいものを聞いて購入することもある。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者の方の希望時にご家族等に電話をしたり、プライバシーに配慮し気兼ねなくやり取りができるようにしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	共有部分は利用者の方が不快感を招かないよう温度や湿度・照明等、注意を払っている。季節感が出るような壁画や装飾、四季折々の草花を飾り、雰囲気作りを工夫し少しでも和めるように心掛けている。又、利用者間のトラブルを避けるため、席の配置や車イスの方を誘導しやすい導線を考え、ソファやテーブル、テレビの配置に気をつけ、居心地よく過ごしてもらえている。エレベーターが設置されており、バリアフリーになっているため、車イスの方でも安心して過ごすことができるようになって		☐ A. 充分にできている 1名 ☐ B. ほぼできている 3名 ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない ☐ D. 無回答 1名	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日常的にコミュニケーションを通し、本人の希望や意向を確認している。コミュニケーションが困難な方は、行動やうなずき、しぐさ等で思いをくみ取り意向に沿った生活が出来るように支援し、ケアプランにも反映させている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	生活歴等、本人、ご家族等から得た情報をもとに、希望を引き出しながら本人が望む生活が出来るよう支援している。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェック、食事・水分量等健康状態を観察し体調の変化に気を付けている。本人の希望や心身の状況にあった通院や往診を受けて頂いている。通院の方には、感染予防策を徹底してもらいご家族等の協力を得て受診している。往診の際は、日々の体調等の変化を報告し、健康維持ができる様に支援している。又、家族等に往診の結果を報告している。		A. 充分にできている 2名 B. ほぼできている 3名 C. あまりできていない い D. ほとんどできていない い	A. 体調を知り、すぐ対応してくれます。 B. 報告してもらっているので安心している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前の面談等で生活歴等を聴取し、生活リズムや食生活等、出来る限り習慣化した暮らしが継続できるようにしている。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居時に馴染みの家具や衣類、思い出の物、写真等を持ってきてもらっている。又、行事でもらった感謝状やメッセージカード、自分の作品(ぬりえ、リース)等を居室の壁に張り、明るい雰囲気でご過ごすことができるようにしている。		A. 充分にできている 1名 B. ほぼできている 3名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 無回答 1名	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	自分からどこかに行きたいという利用者の方は少ないが、職員からの声掛けで、希望を聞いて近くの神社等への散歩や元旦参り、例大祭、地区の文化祭の見物などに行っている。紅葉狩りやお花見などの行事も密を避けて行っている。玄関先に出て、プランターで育てた花や野菜を鑑賞したり、水やり、収穫をもらっている。	元旦参りや神社のお祭り、地域の文化祭の見学等、感染対策を講じながら、希望を聞いて少人数で出かけている。又、気候の良い季節は戸外へ出かけ季節感を感じてもらい気分転換して喜んで頂いている。		

46	本人が持つ 力の活用	本人は、自分ができ ること・できないこと、わ かること・わからないこと を踏まえた、役割や、楽 しみごとを行うことがで きている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	認知症の進行具合や心身 の状態により、出来るこ と・出来ない事・分かる こと・分からない事が 変わっていくので職員 間で情報を共有し、本 人の希望と今できるこ とを踏まえ、安全面を 考慮しながら役割を持 ってもらっている。			
47		本人は、自分がいき いきと過ごす会話のひと 時や、活動場面を日々 の暮らしの中で得るこ とができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日々の生活で利用者間 や職員と楽しく会話を したり、得意な活動を 行い生き生きと過ご せている。無気力な方 に対しても、本人が好 む話題、興味がありそ うな活動を提供し、努 めてかかわりを持って いる。		☐ A. 充分にできている 2名 ☐ B. ほぼできている 3名 ☐ C. あまりできてい ない ☐ D. ほとんどできてい ない	A,本人の好きなこと を十分にやらせても らっている。

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近所の方や友人で面会を希望される場合でも、制限付きで面会の受け入れを行っている。	行事等で歌や踊りの慰問ボランティアの方との交流はできていないが、地域の方へ回覧板でホーム便りを回してもらいホームの様子を知ってもらう機会となっている。地域の文化祭に出かけ、友人等に久しぶりに再会することができた方もいた。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩に出て近所の方とあいさつを交わしたり、いつも顔見知りの職員と生活を共にすることで、親しみ支えあって安心して過ごすことが出来ている。	地域の回覧板を通してより多くの方にホームのことを知っていただく機会になっていると思うので、これからもお願いしたい。地域の中へ出かける機会も増えているのでより良い日々を過ごしてもらえるように今後も努めていきたい。	A. 充分にできている 1名 B. ほぼできている 3名 C.あまりできていない 1名 D. ほとんどできていない	C.本人が自宅以外を好まない、グループホームそのものに偏見を持っている。